

東日本大震災から5年、仙台・東北圏の住宅・不動産はどう変わったのか！

会員及び関係各位 <仙台アセットマネジメント研究会・第154回 例会オープンセミナー>

不動産市場動向セミナー2016イン 仙台

日時：平成28年5月20日(金) 16:00～18:30 受付 15:30～

会場：せんだいメディアテーク 7階スタジオシアター
仙台市青葉区春日町2-1 TEL:713-3171

参加費：無料 定員：100名 (申込者多数の場合は抽選)

懇親会：参加費 5000円 19:00～21:00 会場:表小路 ☎ 022-264-6254

テーマ：仙台圏の最新不動産事情2016・【Spring編】

日本の不動産市場は日銀の「マイナス金利導入」にて、より一層の金融緩和政策が強化される反面、不動産投資マインドへの影響も大きく「様子見姿勢」が強まれば市場の停滞につながる可能性も懸念される状況です。

2015年の仙台圏の事業用不動産取引は約1200億円超と過去最高となりました。首都圏における物件不足が地方都市に分散投資されたことや、優良な一般法人が収益物件の取得に動いたことが取引増加の要因となっております。

“好調さは継続するのか！”今後の仙台圏の不動産市場動向について解説します。

■第1部『仙台・宮城県の居住用不動産の最新事情と今後の見通しについて』

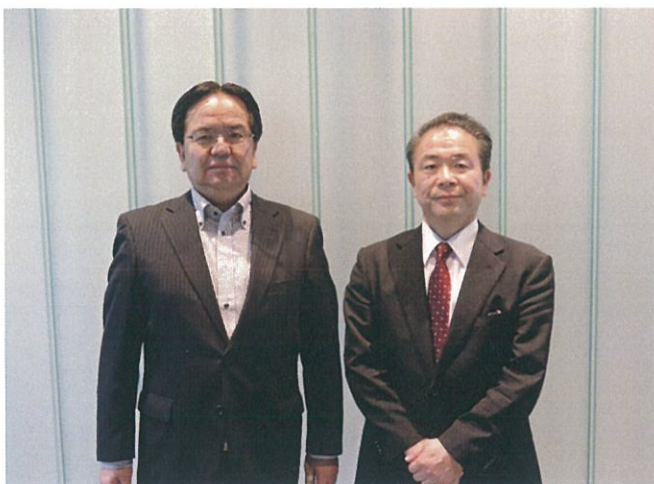
講師：アセットブレインズ仙台ネットワーク 「民活復興プロジェクト」リーダー
株式会社シーカーズプランニング 代表取締役 佐々木 篤

■第2部『仙台・東北圏の投資用・事業用不動産の最新事情と新CRE戦略』

講師：アセットブレインズ仙台ネットワーク 事務局長
株式会社 ナカリエステート 常務取締役 佐々木 正之

◆ 名刺交換会 (セミナー終了後、会場内で行います)

会場風景



【主催】アセットブレインズ仙台ネットワーク 「仙台アセットマネジメント研究会」

事務局 仙台市泉区上谷刈1-7-35 電話 022-773-6685 FAX 022-371-6880 事務局長 佐々木正之

ホームページ <http://www.asset-b.net>

メール asset-b@ac.auone-net.jp

アセットブレインズ仙台NW 仙台圏の事業用不動産 取引は一層活発化

不動産市場動向セミナー

アセットブレインズ仙台 ネットワーク(事務局・仙台市 佐々木正之事務局長)は、「不動産市場動向セミナー2016イン仙台」を仙台市青葉区のせんだいメディアテーク7階スタジオシアターで開催し、約100人が聴講した。後援は建設新聞社など。この中で、仙台の事業用不動産の動向を解説した同ネットワーク事務局長の佐々木正

佐々木篤代表



之ナカリエステート常務取締役は、「市場は一層活発化している」と強調した。

第1部では、同ネットワーク民活復興プロジェクトのリーダーで、元リクルート仙台支社長の佐々木篤シーカーズブランニング代表取締役が、「仙台・宮城県圏の居住用不動産の最新事情と今後の見通し」と題し講演。震災から5年が経過した住宅市場を解説し、今後の展開を予測した。この中で佐々木代表は、仙台圏の居住用不動産事情について「ことし1~4月期は新築・中古売買市場、注文住宅市場ともに好調に推移している。これは一段の超低金利が背景にあるが、消

佐々木正之事務局長



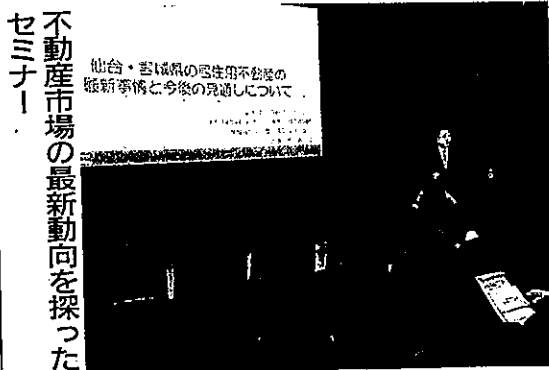
費支出額は抑制傾向にあるため、支払額が重要なポイントとなっている」と指摘した。

第2部では、佐々木常務が「仙台・東北圏の投資用・事業用不動産の最新事情と新CRE戦略」をテーマに講演した。佐々木常務は「昨年度は取引件数が少なかったのではと言われているが、これは感覚的なもので前年度並みの取引数が確認された。取引額は約1200億円規模と、過去最高であったのではないかと見ている。ことし4月も423億円規模の取り引きがあり、市場は活発化している」と分析した。

仙台圏の不動産 新築と中古好調

仙台でセミナー

「不動産市場動向セミナー2016イン仙台」が仙



不動産市場の最新動向を採ったセミナー

台市青葉区で開かれ、専門家らがデータや事例を基に不動産動向を説明した。

不動産関係者らでつくるアセットブレインズ仙台ネットワーク(同市)の主催で、約120人が参加。コンサルタント会社「シーカーズブランニング」(同市)の佐々木篤社長が、仙台圏の居住用不動産の最新事情について講演した。

佐々木氏は、今年の新築・中古市場が好調に推移しているデータを挙げ「中心部と郊外エリアの差は拡大している。仙台圏への集中傾向は今後も続いていくだろう」と見通した。